

令和6（2024）年6月18日（火）

第1回宇都宮地域医療構想調整会議並びに
宇都宮構想区域病院及び有床診療所会議 合同会議

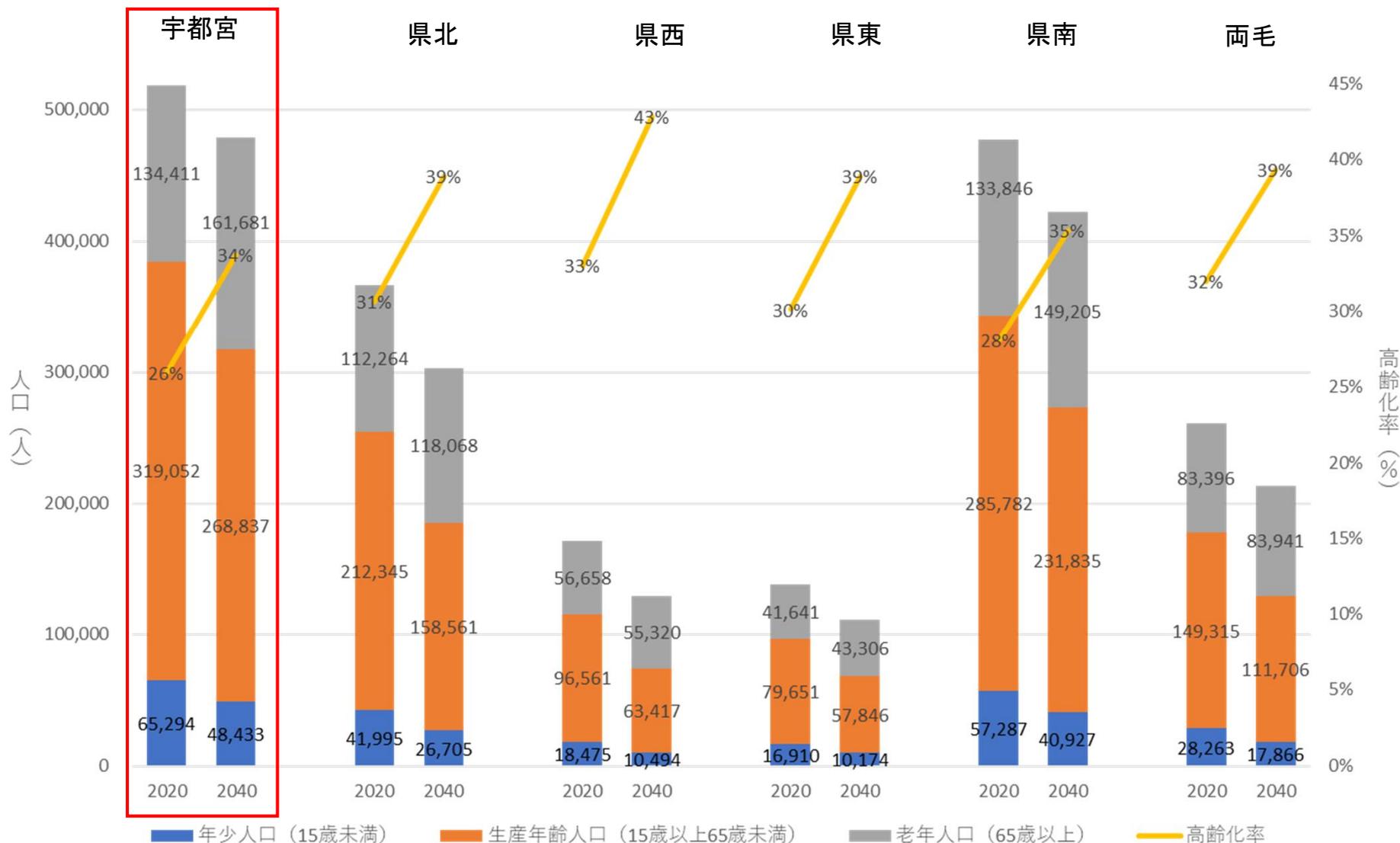
資料3-1

栃木県における 医療の提供状況等

令和6年6月18日
栃木県保健福祉部医療政策課

人口の推移（医療圏別）

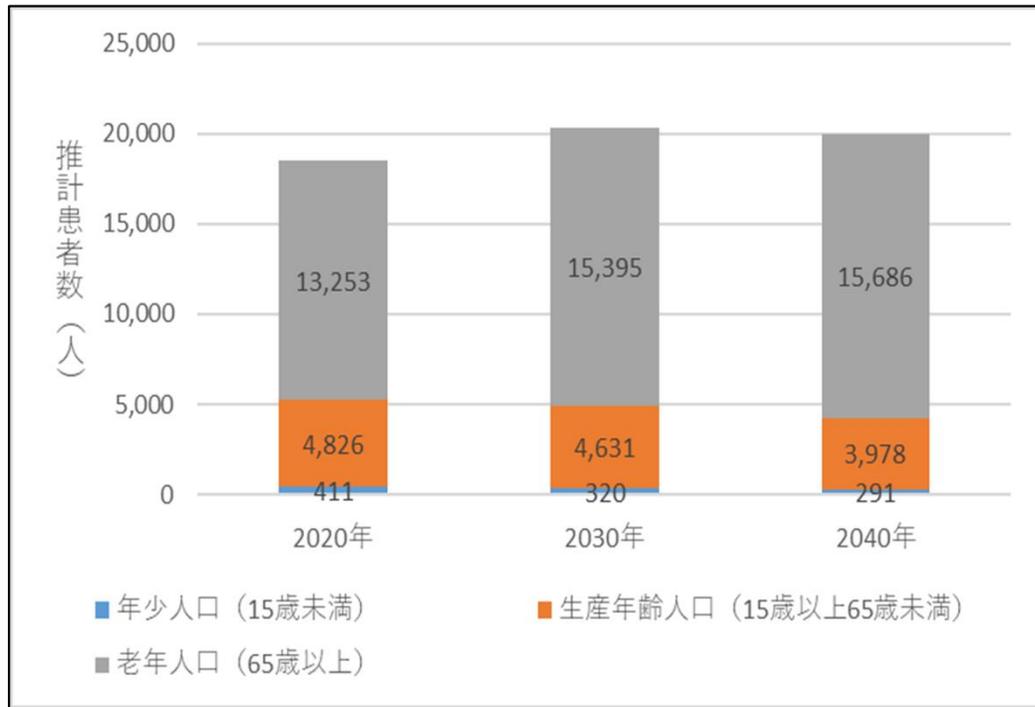
- 2040年に向け、各医療圏で年少人口、生産年齢人口が減少する一方、老年人口は増加する見通し（県西除く）
- 2040年の宇都宮圏域の高齢化率は他圏域よりも比較的低い
- 2020年から2040年にかけて、**宇都宮圏域の老年人口は約1.2倍に増加**



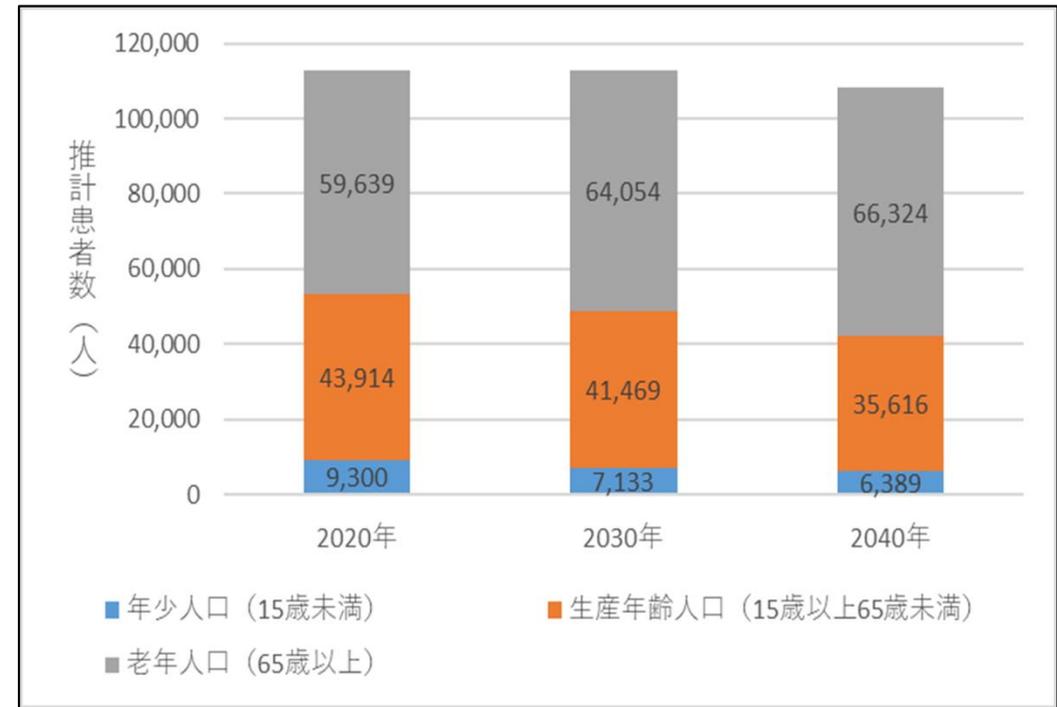
栃木県の医療需要推計（H29受療率×人口推計）

- 栃木県全体の人口は減少するが、**老年人口の増加に伴って医療需要は増加**
- 年齢構成で見ると、入院・外来ともに老年人口の患者数が増加
- 高齢者の増加に伴い**医療介護の複合ニーズを有する患者への対応**が益々重要になる

医療需要（入院）



医療需要（外来）



出所：総務省統計局「令和2年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、厚生労働省「平成29年患者調査」より作成

各医療圏の入院患者流出入状況（令和4年度DPCデータ）

- 医療圏毎の入院患者の**流出**状況を見ると、「**県西**」、「**県北**」が多い
- **流入**状況を見ると、「**県南**」、「**宇都宮**」が多い
- 「**宇都宮**」は**流出入**ともに**同程度の割合**を有しており、患者の出入りが多い地域と言える

患者の医療圏

施設の医療圏

	宇都宮	県西	県東	県南	県北	両毛	県外
宇都宮	25,200	2,176	921	1,146	3,823	118	728
県西	439	9,813	32	210	387	43	199
県東	281	19	7,602	245	110	10	387
県南	8,906	4,607	3,391	32,431	2,927	2,379	8,799
県北	350	109	111	77	24,670	14	1,102
両毛	69	27	5	1,069	19	18,135	3,375

圏域	流入割合	流出割合
宇都宮	26.1%	28.5%
県北	6.7%	22.8%
県西	11.8%	41.4%
県東	12.2%	37.0%
県南	48.9%	7.8%
両毛	20.1%	12.4%

【流入割合】

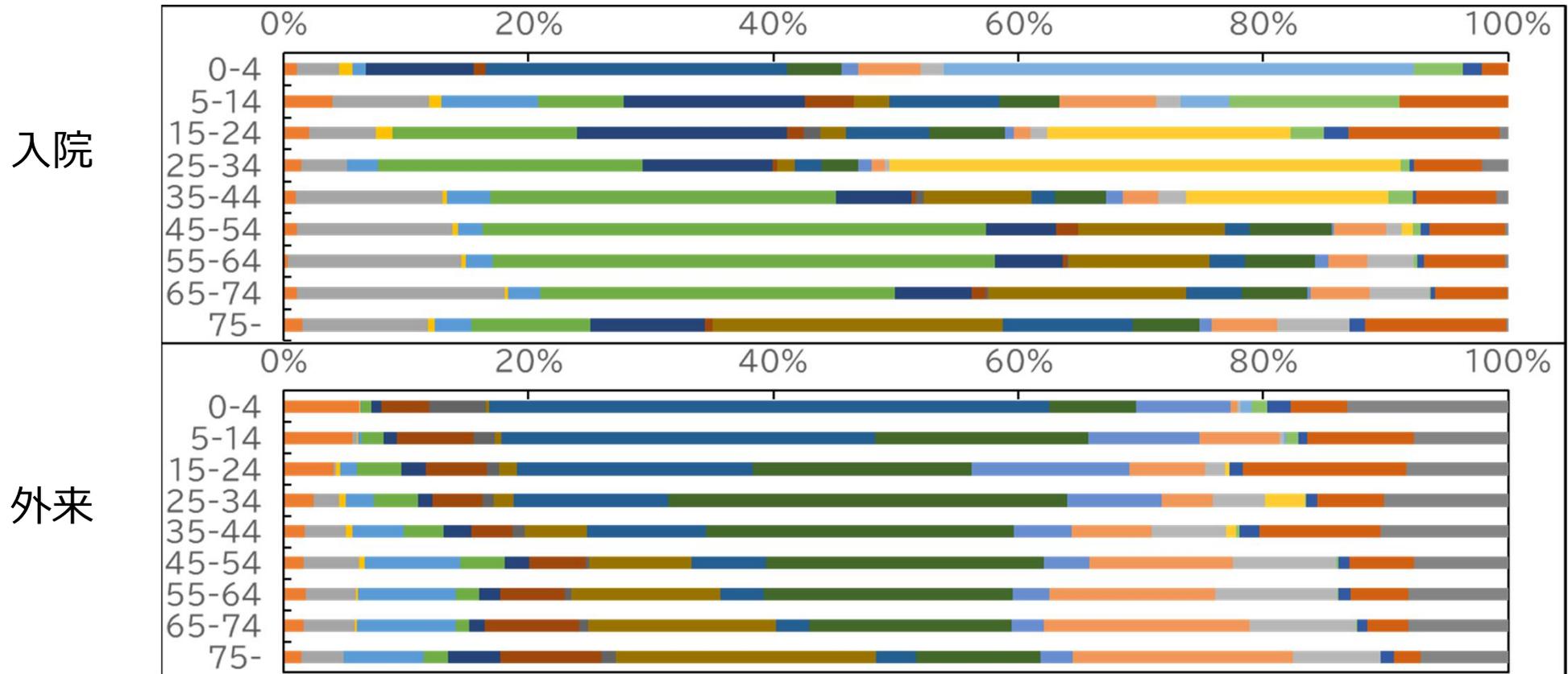
医療圏内の施設に入院した患者のうち、他医療圏の患者が占める割合

【流出割合】

医療圏内の患者のうち、他医療圏の施設に入院した患者が占める割合

H29栃木県 年齢階級毎の疾病構造（入院・外来）

- 入院においては、老年人口（65歳以上）では「新生物」「精神及び行動の障害」「循環器系の疾患」が多くの割合を占め、特に後期高齢者になると「神経系の疾患」「呼吸器系の疾患」の割合が増える
 - 外来においては、老年人口（65歳以上）では「循環器系の疾患」「消化器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」が多くの割合を占めている
- 今後の老年人口の増加を考慮すると、**高齢者医療の需要増加等に適切に対応できる医療介護提供体制の構築が不可欠**



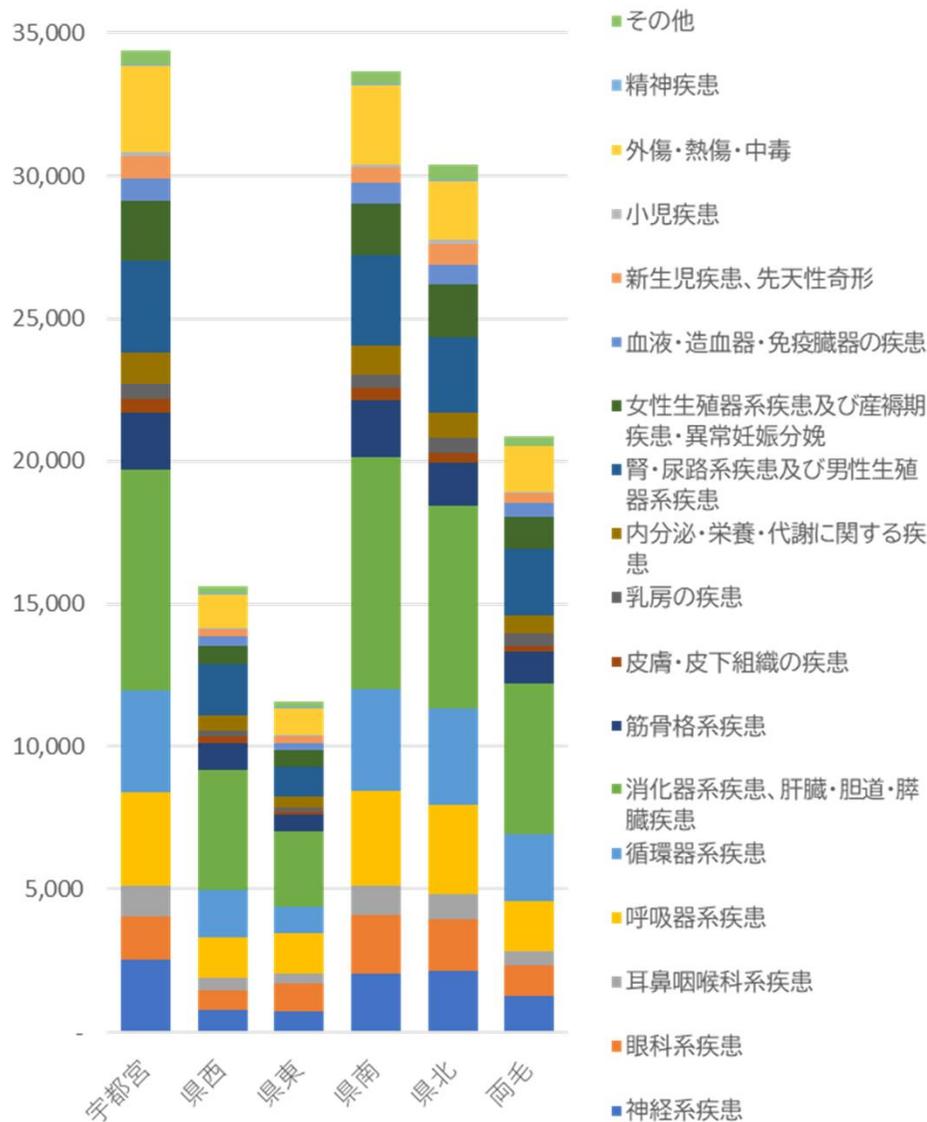
- I 感染症及び寄生虫症
- II 新生物
- III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害
- IV 内分泌、栄養及び代謝疾患
- V 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳様突起の疾患
- IX 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- XI 消化器系の疾患
- XII 皮膚及び皮下組織の疾患
- XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XIV 腎尿路生殖系の疾患
- XV 妊娠、分娩及び産じょく
- XVI 周産期に発生した病態
- XVII 先天奇形、変形及び染色体異常
- XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用

出所：厚生労働省「平成29年患者調査」より作成

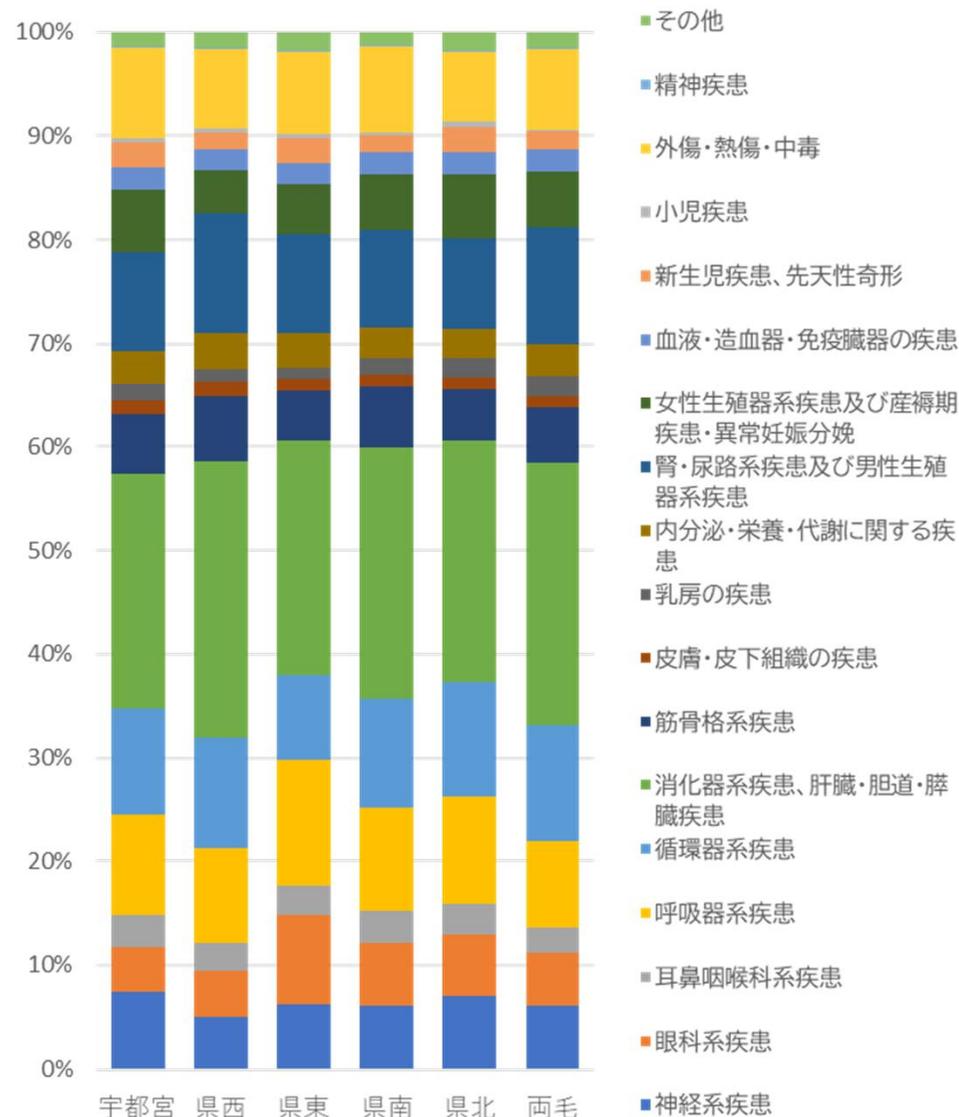
MDC分類別入院患者の状況（令和4年度DPCオープンデータ）

- MDC分類別に入院患者の状況を見ると、「呼吸器系疾患」「循環器系疾患」「消化器系疾患」の患者数、割合が多い

患者数

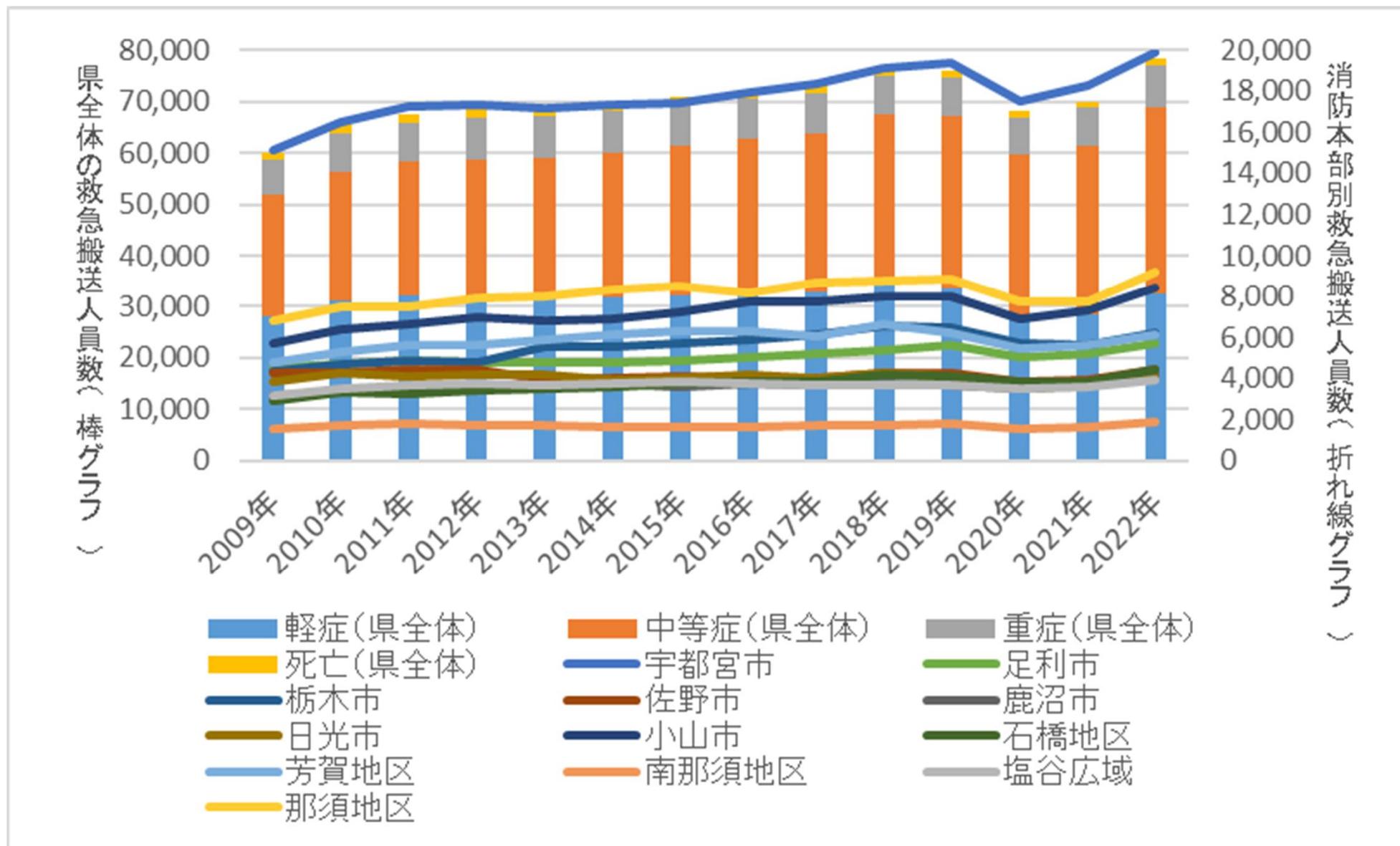


患者割合



各消防別、重症度別（県全体）の救急搬送人員数の推移（人/年）

- ほとんどの消防本部において救急搬送人員数が増加傾向にあり、特に宇都宮市において大きく増加している
- また、重症度別に見ると、中等症の搬送人員数が増加傾向にある



（救急搬送データから作成）